

第8回「新・木造の家」設計コンペを後援 (未来に繋げる夢ある家づくりの提案)

「元気な山を呼び戻し、日本の木の温もり・優しさを伝える」を活動理念として活動している特定非営利活動法人(NPO法人)「森林(もり)をつくろう」では、森林や木材について、そして木造について正確に理解した設計士を育成するために、「新・木造の家」設計コンペを実施しています。

独立行政法人森林総合研究所森林農地整備センターでは、木材利用の推進などの観点から、NPO法人「森林をつくろう」主催の設計コンペを後援しています。

設計コンペの応募資格、募集期間などの詳細は下ポスターのとおりです。

第8回
「新・木造の家」設計コンペ
2012

平安～江戸期に洗練された日本の木造建築の技術。
この技術をさらに進化させながら後世に伝えていく必要があります。
そのために、木のことを正確に理解した木造建築者を育成すべく
実際の施工まで視野に入れた設計コンペを開催。
日本の山林保全のため、全国的なプロジェクトが始動します。

応募者登録期間
6/20(水)～8/31(金)

作品募集期間
8/1(水)～9/18(火)
(当日消印有効)

プレゼンテーション・講演会
10/27(土)

1. 応募資格 (以下の全てを満たすもの)
・大学または大学院、高等専門学校、専門学校で建築を学ぶ学生
(但し、応募時点で30歳以下の学生を対象とする)
・個人またはグループでの応募
・グループでの応募については、大学または大学院、高等専門学校、
専門学校で建築を学ぶ学生を少なくとも1名含むこと
・福岡県で行うプレゼンテーションに確実に参加できること

2. 設計条件
・敷地面積300㎡以内、敷地条件、住宅の延べ床面積は適宜想定
・敷地設定においては、詳細の設定をする必要はないが、施工してみたい地域をあらかじめ指定すること
・その地域の伝統的建築技術や素材についてそれぞれ情報を収集し、それらを活かした将来に残すことのできるような住まいや構法の提案に繋げること
例) 生まれ育った地域や美しい山の地域等で設定し、その地域で使用、伝承されてきた
技法や素材を活かしながら、作品制作をしていく
・1～2階建て
・家族構成は自由
・伝統構法による木造住宅

3. 応募に必要な書類
・応募用紙(応募申請書)
・設計図
・設計図のデータ

4. 賞ならびに賞金 (優秀作品5点)
・林野庁長官賞(1点) 賞品
・最優秀賞(1点) 賞金30万円
・優秀賞(2点) 賞金各5万円
・瓦葺構優秀賞(1点) 賞金5万円
※優秀作品の中から、公募による地主が選んだ1点を
実際に施工する
・トステム賞(1点) 賞品

5. 審査員 (敬称略)
委員長 鈴木 祥之(立命館大学教授)
委員 五十嵐 勉(佐賀大学農学部准教授)
井出 光俊(林野庁林政部経営課林業労働対策室長)
伊東 龍一(熊本大学大学院自然科学研究科教授)
杉浦 慶典(全国陶器瓦工業組合連合会理事長)
筋川 康((株)前川建築研究室代表取締役)
松尾 智昭(福岡県森林水産部林業企画課長)
三島 伸雄(佐賀大学大学院工学系研究科准教授)

■主催 特定非営利活動法人 森林をつくろう
■後援 林野庁・国土交通省・福岡県・福岡市・独立行政法人 森林総合研究所森林農地整備センター
西九州トステム株式会社(LIXILグループ)・全国陶器瓦工業組合連合会・一般社団法人全日本瓦工事業連盟

詳細ならびに募集要項・応募用紙のダウンロードは
NPO法人 森林をつくろうのホームページを参照
<http://www.mori-tukurou.com>